

内閣総理大臣 安倍晋三様
内閣官房長官 菅 義偉様
国家公安委員長 河野太郎様

SEALDs の学生とその家族への「殺害予告」に対する抗議声明

新聞報道などで周知の通り、SEALDs（「自由と民主主義のための学生緊急行動」）の一学生とその家族に対し、2015年9月24日に殺害予告状が届きました。

日本バプテスト連盟は、匿名による「殺害予告」という卑劣な手段により特定の個人とその家族を脅迫し、憲法で保障されている言論と思想信条の自由をはく奪しようとする行為に対し、強く抗議します。

私たちは、テロリズムや暗殺によって、良心（信教）、言論・出版、集会・結社の自由が奪われ、戦争へとなびいていった戦前・戦中の苦い経験を想起しなければなりません。このような「殺害予告」が放置され、許容されるならば、いっそうの言論と思想信条の自由の封殺へと発展する恐れのあることを強く憂慮する次第です。

日本バプテスト連盟は、歴史の支配者なるイエス・キリストへの切なる祈りをもって、このような卑劣な脅迫に曝されている一学生とその家族の身体の安全と言論・思想信条の自由を固く擁護することを誓い、憲法で保障されている基本的人権に関して、よりいっそうの遵守義務を政府に求めるものであります。

聖句：地上におけるすべての命は神により造られ祝福された（創世記1章28節）。被造物である人間が同じ命を与えられた人間を殺すことはあってはならない（申命記5章17節）。「隣人を自分のように愛しなさい」（マタイ福音書22章39節）。

2015年11月13日
日本バプテスト連盟第61回定期総会